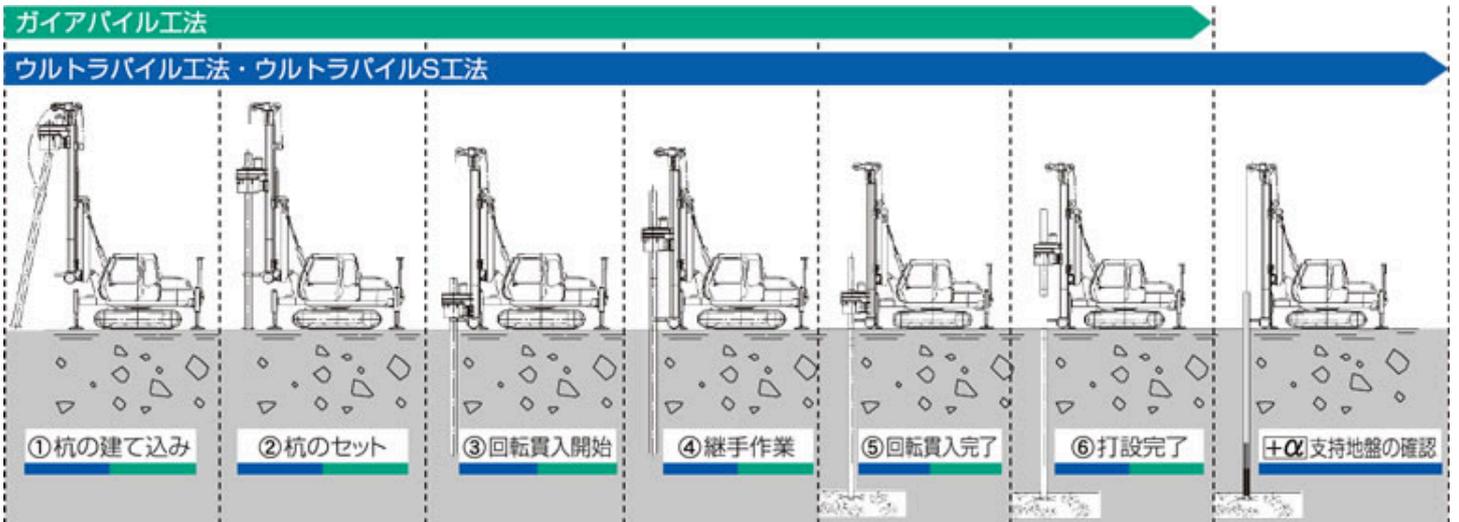


ガイアパイル工法の概要



1. 杭を吊り込んで杭先端を杭芯に合わせる。
 2. 杭芯へのセット終了後、鉛直性を確認し、杭が移動しないように振れ止め装置をセットする。
 3. 杭を正回転(右回転)させ、拡翼の推進力と必要に応じ圧入力Pを加えて杭を貫入させる。
 4. 1本目を回転貫入したら、2本目以降は溶接により継ぎ足しを行い、順次回転貫入させる。
 5. 回転キャップを用いて所定の深度まで回転貫入させ、指標値が管理地を越えていることを確認して回転貫入を完了する。
 6. 回転キャップを逆回転(左回転)させて引抜き、施工を完了する。
- +α 杭先端部をスライドウェイト計測器付のモンケンで打撃することにより支持力の増加と先端支持地盤の確認が可能です。



① 杭の建て込み



② 杭のセット



③ 回転貫入開始



+α(1) 杭先端部モンケン落下



④ 継手作業



⑤ 回転貫入完了



⑥ 施工完了(杭頭スレ確認)



+α(2) スライドウェイト計測
(支持地盤の確認)